

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション永田
所在地	(〒 940 - 0874) 新潟県長岡市永田 2 丁目 9 番 25 号		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。必要な人に必要なサービスを提供し、その人の築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2019 年 12 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(5) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2020 年 4 月 30 日	出席人数 (合計)	(13) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 (2 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (2 人) <input type="checkbox"/> 利用者 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の家族 (1 人) <input checked="" type="checkbox"/> 知見を有する者 (4 人) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (3 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	(平成 30 年度に向けて) 前回の改善計画	(平成 3 1 年度) 実施した具体的な取組	(平成 3 1 年度) 進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での生活の継続を目標に利用者の望むサービスの提供に日々の援助に取り組んだ。 ・職員の資質向上のため、日々の申し送り、ミーティング等でサービスに対する共通認識を持てるように取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の望むサービス提供を行った。 ・日々の申し送りや援助方法の統一のため職員間で話合う機会を持った。全職員が一堂に集まるのは困難なため回数を増やし改善方法を検討出来た。 ・
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の望む生活が営めるように必要なサービスを考え提供した。 ・体調の変化、特変時には柔軟にサービスの量を増やし、医療従事者からの助言をもとにサービス提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用し、多職種での情報共有出来た。 ・他職種への助言はもっと積極的にいただくようにしても良かった。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットを活用し、他事業所との連携を行っている。 ・多職種、双方向からの情報を収集して利用者本位でサービス提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットで双方向からの情報発信ができ、連携が図れており日々の様子も伝わりやすくなった。 ・デイサービスやショートステイ、訪問リハビリなどフェニックスネット未加入事業所との情報提供は不十分。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・開設当初はコミュニティーセンター等での説明会を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開設当初は説明会の開催を行ったが、その後は実施できなかった。 ・地域の行事やサポートセンターとしての関わりには参加した。

<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・他職種の情報を確認し、ヘルパー間での申し送りで情報共有し今必要な支援を早期に提供できるように努めた。 ・丁寧なケア、利用者本位を第一に考えサービス提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の望むにサービスを提供していたが、少人数の職員の中で希望される時間での提供が出来ないこともあり、時間の変更等お願いしていた。 ・少人数でのメリット(利用者、職員の関係が密)、デメリット(提供できる時間に制限が出来る)を実感し改善検討が必要。
---------------------------------	--	--	---

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	(平成31年度) 評価結果	(令和2年度に向けて) 改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活が続けられるためのサービス提供は出来た。 ・一堂に集まるミーティングの開催は困難なため、回数を増やし開催することで職員の負担なく開催出来た。 ・一人体制のため災害時や有事の時の不安は払拭出来ていない。こぶし園内でのサポート体制はあるが、実際には活用していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を考え、質の高いケアの提供をする。 ・職員の負担が少ないミーティング等の開催を実施し利用者のカンファレンスの場を増やす。 ・災害、有事の時の支援体制を活用できるように見直しする。 	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ柔軟なサービス提供が出来た。 ・もっと積極的に他職種からアドバイスをもらえるようにしたほうが良い。アドアイスを活用する必要あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有事に対応できる柔軟なサービス提供をする。 ・医療従事者や他職種からのアドバイスをもらいながらサービス提供に努める。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットでの連携で情報共有が出来ている。必要時は電話にて連絡を入れるようにした。 ・フェニックスネット未加入事業所との連携は不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットでの連携以外にもフェニックスネット未加入事業所との情報共有、連携を進めていく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)	<ul style="list-style-type: none"> ・開設当初は説明会も行っていたが、その後は未実施となった。 ・地域の行事やサポートセンターとして参加関わりを持っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンターとしての役割を考えて地域との関わりを持つ。
III. 結果評価 (評価項目 33～34)	<ul style="list-style-type: none"> ・開設して1年が経ち少しずつ事業所を理解してもらった。 ・少人数でのメリット(利用者、職員の関係が密)、デメリット(提供できる時間に制限が出来る)が出来てしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業所の特性を活かし、利用者とのコミュニケーションをとりながら質の高いサービス提供を行う。 ・有事に対応できる体制をつくる。 ・アセスメント・評価・実行を今以上に実施し利用者の望む生活の継続を目指す。 	

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します